

(別紙1)

平成29年度～平成33年度 社会福祉法人八戸市社会福祉事業団 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

| | | | | | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------|--------------|
| 法人名 | 社会福祉法人八戸市社会福祉事業団 | | 法人番号 | 4200-05-02961 | | | | |
| 法人代表者氏名 | 高島 司 | | | | | | | |
| 法人の主たる所在地 | 青森県八戸市根城八丁目8番155号 | | | | | | | |
| 連絡先 | 0178-41-1215 | | | | | | | |
| 地域住民その他の関係者への意見聴取年月日 | | | | | | | | |
| 公認会計士、税理士等の意見聴取年月日 | 平成29年6月1日 | | | | | | | |
| 評議員会の承認年月日 | 平成29年6月26日 | | | | | | | |
| 会計年度別の社会福祉充実残額の推移 | 残額総額 (平成28年度末現在) | 1か年度目 (平成29年度末現在) | 2か年度目 (平成30年度末現在) | 3か年度目 (平成31年度末現在) | 4か年度目 (平成32年度末現在) | 5か年度目 (平成33年度末現在) | 合計 | 社会福祉充実事業未充当額 |
| | 283,730 千円 | 283,730 千円 | 283,730 千円 | 204,830 千円 | 195,830 千円 | 0 千円 | | 0 千円 |
| うち社会福祉充実事業費 | | 0 千円 | 0 千円 | ▲78,900 千円 | ▲9,000 千円 | ▲218,900 千円 | ▲306,800 千円 | |
| 本計画の対象期間 | 平成29年8月1日～平成34年3月31日 | | | | | | | |

2. 事業計画

| 実施時期 | 事業名 | 事業種別 | 既存・新規の別 | 事業概要 | 施設整備の有無 | 事業費 |
|-------|--------------------------|--------|---------|---|---------|---------|
| 1か年度目 | 障害者地域自立支援事業 (グループホーム) | 社会福祉事業 | 新規 | 事業実施計画の作成 ・事業可能性検討～事業収支計画 ・類似施設等調査 ・立地調査(候補用地選定)～ 環境調査・利用者意向調査等 | 無 | 0 千円 |
| | (生活介護事業所) | 社会福祉事業 | 新規 | 同上 | 無 | 0 千円 |
| | 小計 | | | | | |
| 2か年度目 | 障害者地域自立支援事業 (グループホーム) | 社会福祉事業 | 新規 | 基本計画の作成 ・基本コンセプトの確認 ・与条件の検討・整理 ・用地選定～確定 ・関係機関等ヒアリング | 無 | 0 千円 |

| | | | | | | |
|-------|--------------------------|--------|----|---|---|---------------|
| | (生活介護事業所) | 社会福祉事業 | 新規 | 同上 | 無 | 0 千円 |
| | 小計 | | | | | 0 千円 |
| 3か年度目 | 障害者地域自立支援事業 (グループホーム) | 社会福祉事業 | 新規 | 用地購入 基本設計の作成 ・平面・断面、設備システム等 | 無 | 47,300 千円 |
| | (生活介護事業所) | 社会福祉事業 | 新規 | 同上 | 無 | 31,600 千円 |
| | 小計 | | | | | 78,900 千円 |
| 4か年度目 | 障害者地域自立支援事業 (グループホーム) | 社会福祉事業 | 新規 | 実施設計の作成 ・建築詳細検討 ・建築費積算調整 ・建築確認等諸手続き ・建設業者選定 | 無 | 5,300 千円 |
| | (生活介護事業所) | 社会福祉事業 | 新規 | 同上 | 無 | 3,700 千円 |
| | 小計 | | | | | 9,000 千円 |
| 5か年度目 | 障害者地域自立支援事業 (グループホーム) | 社会福祉事業 | 新規 | 建設工事 ・設計監理契約 ・竣工 利用者・職員募集 ・事業開始準備(プレオープン) | 有 | 125,800 千円 |
| | (生活介護事業所) | 社会福祉事業 | 新規 | 同上 | 有 | 93,100 千円 |
| | 小計 | | | | | 218,900 千円 |
| 合計 | | | | | | 306,800 千円 |

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

| 検討順 | 検討結果 |
|-----------------------|---|
| ① 社会福祉事業及び公益事業(小規模事業) | <p>○地域で暮らすということ。</p> <p>自分の住み慣れた町や、地域で生活したいという思いは誰も抱いている。障がいのある方でも同じことが言えるはずである。それぞれの障がい特性に応じた支援をすることにより自立することができる。誰もが障がいの有無を超えて、一人の人間として自分らしい幸せの形を追求できる時代になっている。しかしながら、青森県の「地域の福祉ニーズに関する調査」においては事業所の不足、住居の確保が難しいとあげた事業所は約40%あった。具体的な内容として下記のことがあげられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽度の障がい者は就労の場は確保できても、居住の場を確保することが難しい。 ・介護サービス包括型グループホームの数が少なく、利用したくても待機しなければならない。 ・高齢障がい者に対するグループホームが不足している。 <p>グループホームは、障がいのある人たちの「障がいがあっても地域の中で普通に暮らし続けたい」という思いを実現するために出来た制度であり、障がい者が自分にあった自分の暮らしを実現できる場であること、そのためには小規模な暮らしの場であることが大切である。障がいの有無によって分け隔てられることなく、共に生きる地域社会の実現の政策の一つとしてグループホームは大きな役割を果たしている。さらに日中は、生活介護施設(通所)と連携し、利用者が何かしらの形で社会参加をし「生きがい」を生むようにする。利用者の状況に応じて施設内で様々な役割・経験・</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>健康づくりなどを提供できるなど、重度の方も軽度な方も24時間体制で安心・安全に利用できる体制を整える。</p> <p>バックアップ施設（いちい寮）は、重度・高齢知的障がい者にとって、介護や医療のノウハウと体制を整えているため、地域で暮らしたいと思っている方にとって安心して移行できると考えている。</p> <p>利用者一人ひとりの幸せを目指し援助することは、「誰もが生き活きと暮らせる心豊かな地域社会の創造を目指す」八戸市社会福祉事業団の理念であることに他ならない。</p> <p>○用地の選定</p> <p>グループホームは「地域で暮らす」ことが前提であり、地域住民との日常生活上の関わりをもちながら暮らすということである。利用者本人の希望で、休日に出掛けたいと思ったとき、また利用者の家族や地域住民との交流を考えた場合、公共交通ネットワークが整備されていると、利用者にとって利便性の高いものになる。また、バックアップ施設からすぐ駆けつけられる距離にあると、緊急事態（病気、災害等）に即座に対応できるため、安全安心な生活環境が提供できる。以上のことを勘案し用地を選定したい。</p> |
| ② 地域公益事業 | |
| ③ ①及び②以外の公益事業 | |

4. 資金計画

| 事業名 | 事業費内訳 | 1か年度目 | 2か年度目 | 3か年度目 | 4か年度目 | 5か年度目 | 合計 | |
|-----|------------------|--------------|---------|--------------|-------------|---------------|---------------|--------------|
| | 計画の実施期間における事業費合計 | 0 千円 | 0 千円 | 78,900 千円 | 9,000 千円 | 218,900 千円 | 306,800 千円 | |
| | 財源構成 | 社会福祉充実 残額 | | 78,900 千円 | 9,000 千円 | 195,830 千円 | 283,730 千円 | |
| | | 補助金 | | | | | 0 千円 | |
| | | 借入金 | | | | | 23,000 千円 | 23,000 千円 |
| | | 事業収益 | | | | | | |
| | | その他 | | | | | 70 千円 | 70 千円 |

5. 事業の詳細

| | |
|-----------|--|
| 事業名 | 障害者地域自立支援事業 |
| 主な対象者 | 障害者・高齢障害者 |
| 想定される対象者数 | 20名 |
| 事業の実施地域 | 八戸市 |
| 事業の実施時期 | 平成29年8月1日～平成34年3月31日 |
| 事業の内容 | ・八戸市障がい福祉計画（第4期計画）の「福祉施設から地域生活への移行促進」に基づき、施設に入所している障がい者が、自立訓練等のサービスを利用する |

| | | |
|------------------|---|---------------------------------------|
| | <p>ことで、グループホームや一般住宅に移行し地域生活を送れるようになることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年から平成 34 年にかけて「障がい者地域自立支援事業」として 6 名定員のグループホーム 2 棟、20 名定員の生活介護事業所 1 棟の用地購入及び建設。 平成 34 年 4 月に開設予定。 | |
| 事業の実施スケジュール | 1 か年度目 | 事業実施計画の作成 |
| | 2 か年度目 | 基本計画の作成 |
| | 3 か年度目 | 用地購入・基本設計の作成 |
| | 4 か年度目 | 実施設計の作成 |
| | 5 か年度目 | 建設工事・利用者、職員募集 ※6 か年度目から事業開始 |
| 事業費積算 (概算) | <ul style="list-style-type: none"> グループホーム 2 棟 土地取得費用…300 坪、坪単価 15 万として 4,500 万円 建築費…5,600 万×2 棟として 11,200 万円 設計・監理料…1,140 万円 設備購入…1,000 万円 生活介護事業所 土地取得費用…200 坪、坪単価 15 万として 3000 万円 建築費…7,000 万円 設計・監理料…840 万円 設備購入…2,000 万円 | |
| | 合計 | 306,800 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 283,730 千円) |
| 地域協議会等の意見とその反映状況 | | |

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由